

かめやま教育通信

第45回



1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」～GIGAスクール構想の実現～

令和元年12月に文部科学省から「GIGAスクール構想の実現」が発表され、全国の小・中学校において1人1台の端末と通信ネットワークの整備を行うこととなりました。当初は令和5年度までに全国の小・中学校で「1人1台端末」を整備する目標でしたが、新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえ、ICTの活用によりすべての子どもたちの学びを保障するために、令和2年度中に整備ができるよう大幅に前倒しされました。

GIGAスクール構想とは…

国が進める「GIGAスクール構想」は、「1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたち一人ひとりに個別に最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する」プロジェクトです。

※「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字です。
データの容量を表すGB（ギガバイト）とは関係ありません。



Q. 亀山市にはいつ整備されますか？

令和2年度中に、1人1台でも快適に使用できるよう、教室の無線LAN整備等を含めた校内通信ネットワークの整備工事を順次行います。そして、小・中学校全児童・生徒分の1人1台端末を整備する予定です。令和3年度から、本格的な活用を行っていきます。



Q. 亀山市に導入される端末はどのようなものですか？

カバーにキーボードが付いたタブレットを導入します。機種は、現在導入済みのタブレットと同様の端末です。キーボードは、端子を通して接続されるため、ペアリングや充電も不要です。

Q. GIGAスクール構想の実現によって、教育はどう変わるのですか？

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりに合わせた教育ができる教育ICT環境が実現します。ただし、すべての授業で毎回タブレット等が使用されるわけではなく、授業の内容に合わせてICTが活用されます。



Q. 具体的にどのように活用するのですか？

調べ学習でインターネットの利用がすぐできたり、カメラ等を使用してさまざまな情報を記録に残したりすることができます。グループ学習などでは、子どもたちが自ら考え、表現する協働した学びに活用できます。一人ひとりの思考が可視化され、情報を送受信し合い、考えを共有しやすくなります。

タブレットに導入されている学習支援ドリルを使うことで、個々の理解度に合わせてAIが判断して次の課題に取り組むこともできます。

将来的には、家庭に持ち帰って学習する活用も考えており、今後検討を進めていきます。

問合先 教育委員会事務局学校教育課教育研究グループ(☎84-5077)